

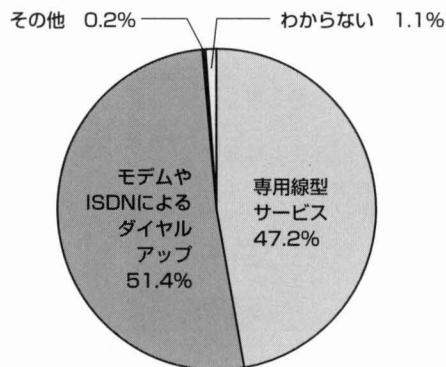
第2章 プロバイダーとバックボーン

専用線型プロバイダー

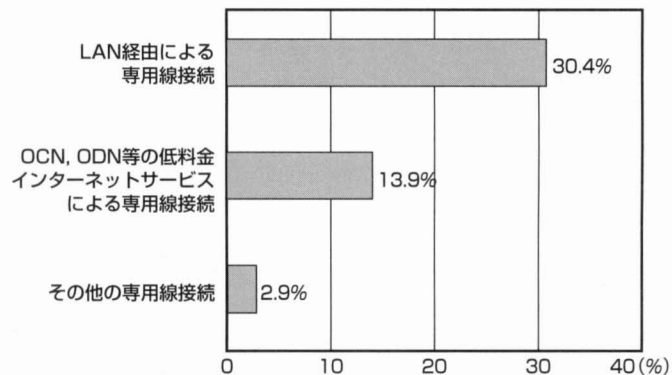
強いキャリア系サービス

資料2-2-8 企業における専用線型サービスの利用状況

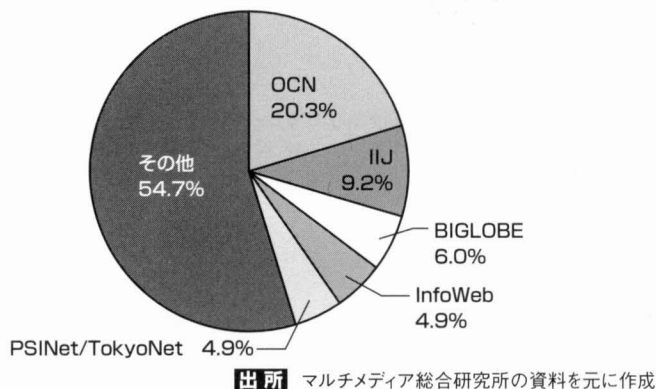
(N=1,155)

インターネット白書'99 ©インプレス,
Access Media International&IAJ, 1999

資料2-2-9 企業における専用線型サービス利用状況の詳細

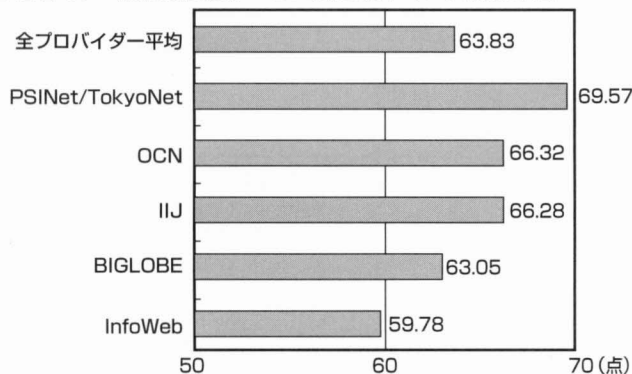
インターネット白書'99 ©インプレス,
Access Media International&IAJ, 1999

資料2-2-10 専用線接続サービスの契約数シェア (N=468)



出所 マルチメディア総合研究所の資料を元に作成

資料2-2-11 専用線接続サービス満足度ポイント総合評価



調査内容

調査は今年2月下旬から3月下旬にかけて実施。全国の年商100億円以上の企業から1,500社を無作為抽出し、有効回答数は1,232。インターネット利用企業1,093社のうち詳細なアンケートに回答した966社のインターネットサービスプロバイダー (ISP) との契約回線数は1,046件。このうちダイヤルアップ接続サービスが578件、専用線接続サービスが468件。

解説

インターネットへの接続方法は、ダイヤルアップによる間欠接続と専用線などによる常時接続がある。インターネットを常時接続で利用するには、プロバイダーの専用線型サービスを契約することになる。専用線型サービスは、NTTなどの回線提供者に支払う回線使用料とプロバイダーに支払う接続料が必要なので、手頃な価格とは言えないが、NTTが安価な専用線サービスであるデジタルアクセスや、インターネットサービスプロバイダーとしてOCNを提供したことによって価格が下がり、企業においては利用者が伸びている。インターネット白書の調査(資料2-2-8と2-2-9)でも、OCNエコノミーなどを含む常

時接続型を利用している企業は約47%となっている。

専用線型サービスにおける人気プロバイダーの動向はつかみにくい、マルチメディア研究所の調査(資料2-2-10と2-2-11)によると、NTTのOCNが他を引き離して1位となっている。これは、毎月の料金が3万円台と安価なのに加え、キャリア会社としての知名度と安心感によるところが大きい。2位のIIJは、顧客は料金が高いという判断をしているが、その分サービスの品質や技術力の高い点が買われている。

上位5位までを見ると、企業はキャリア系や大手のプロバイダーを指向していることがわかる。

企業という立場から考えると、サービス品質や技術力を含めた安心度がやはり一番の問題となるわけだ。

98年は、こうした専用線型プロバイダーの間で大きな動きがあった。外資系による国内大手プロバイダーの買収や、外資系と国内キャリアの提携、電力系の地域キャリアによる専用線サービスの提供、IIJ、トヨタ自動車、ソニーによるクロスウェーブコミュニケーションズの設定などである。通信業界の再編に呼応して、変動はまだ続くと考えられる。

(井上尚司)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp